

講義名称	児童・家庭福祉論
開講責任部署	大学
講義区分	講義
基準単位数	2.0
科目群（区分）	専門基本
アクティブ・ラーニング実施の有無	実施有り
開講時期	社→2年後期／子→1年後期
必修・選択	社→選択／子→必修
卒業認定・学位授与の方針との関連	社会福祉学科（2）、子ども教育保育学科（2）

所属名称	ナンバリングコード
金城大学人間社会科学部子ども教育保育学科	23112013
金城大学人間社会科学部社会福祉学科	13214013

担当教員

氏名	所属
◎ 三宅 右久	大学・人間社会科学部・子ども教育保育学科

授業概要	子どもを取り巻く問題は多岐にわたり、深刻化している。こうした現状において、福祉専門職には子どもと家庭を適切にアセスメントするだけではなく、他職種へのコンサルテーションや連携のまとめ役としてのマネージメントを遂行することが求められる。この授業では子どもと家庭を支えるために必要な社会資源やその根拠となる法制度等について理解を深める。
到達目標	1. 子ども家庭問題を考えていく上での専門的な知識を理解することができる。 2. 近年の子どもや家庭が抱える問題（子育て不安、ひとり親家庭、児童虐待及びDV等）について理解することができる。 3. 近年の子どもや家庭が抱える問題について必要な支援や社会的資源について関連法と関係づけて説明できる。 4. 子どもと家庭を支援する専門職についてその役割と専門性について説明できる。 5. 児童相談所の業務、権限、相談内容について説明できる。

授業計画表

授業計画表			
第1回	【授業計画】		
	オリエンテーション 子ども家庭福祉の理念と概念		
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】	
	子ども家庭福祉の理念について、教科書の該当箇所を熟読する P2～22を予習	60	
第2回	【授業計画】		
	子ども家庭福祉と子どもの権利擁護の発展過程		
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】	
	前回講義の復習と子ども家庭福祉と子どもの権利擁護の歴史について、教科書の該当箇所を熟読する P24～36を予習	60	
第3回	【授業計画】		
	子ども家庭を取り巻く現代社会		
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】	
	前回講義の復習と子どもを取り巻く現代社会について、教科書の該当箇所を熟読する P38～46を予習	60	
第4回	【授業計画】		
	子育てを巡る動向と課題		
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】	
	前回講義の復習と子育てを巡る動向と課題について、教科書の該当箇所を熟読する P81～98を予習	60	

第5回	【授業計画】	
	子ども家庭福祉の法体系	
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】
	前回講義の復習と子ども家庭福祉の法体系について、教科書の該当箇所を熟読する P48～56を予習	60
第6回	【授業計画】	
	子ども家庭福祉の実施体制と専門職	
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】
	前回講義の復習と子ども家庭福祉の実施体制と専門職について、教科書の該当箇所を熟読する P57～80を予習	60
第7回	【授業計画】	
	多様化する保育、ひとり親家庭への支援	
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】
	前回講義の復習と多様化する保育、ひとり親家庭への支援について、教科書の該当箇所を熟読する P107～115、P138～146を予習	60
第8回	【授業計画】	
	要保護児童、児童虐待への対応	
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】
	前回講義の復習と要保護児童、児童虐待への対応について、教科書の該当箇所を熟読する P116～129を予習	60
第9回	【授業計画】	
	虐待を受けた子どもへの支援	
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】
	前回講義の復習と虐待を受けた子どもへの支援について、教科書の該当箇所を熟読する P194～213、P222～229を予習	60
第10回	【授業計画】	
	DVと女性への支援	
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】
	前回講義の復習とDVと女性への支援について、教科書の該当箇所を熟読する P147～153、P238～241を予習	60
第11回	【授業計画】	
	非行児童とその家族への支援	
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】
	前回講義の復習と非行児童とその家族への支援について、教科書の該当箇所を熟読する P161～167を予習	60
第12回	【授業計画】	
	社会的養護	
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】
	前回講義の復習と社会的養護について、教科書の該当箇所を熟読する P130～137、P230～233を予習	60
第13回	【授業計画】	
	障害のある子どもと家族への支援	
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】
	前回講義の復習と障害のある子どもと家族への支援について、教科書の該当箇所を熟読する P176～186、P250～253を予習	60
第14回	【授業計画】	
	母子保健と若者支援	
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】
	前回講義の復習と母子保健と若者支援について、教科書の該当箇所を熟読する P99～106、P168～175、P214～217、P246～249を予習	60

第15回	【授業計画】	
	子ども家庭福祉実践の課題と展望	
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】
	これまでの学習内容を振り返る	60

履修に必要な予備知識や技能	子どもを取り巻く諸問題について、日頃から関心を持つことが望ましい。児童虐待に関する論文や書籍等を読んでおくことが望ましい。
課題に対してのフィードバック	小テスト及び課題レポート実施の翌週に振り返りを行う。
評価方法・基準	小テスト40％、課題レポート提出30％ 授業への参加度30％
教科書	教科書：最新 社会福祉士養成講座3『児童・家庭福祉』 一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟編集 中央法規 教科書の該当ページを開きながら、解説する。 参考書：保育者養成のための『子ども家庭福祉』 川並利治・和田一郎・鈴木勲 大学図書出版
備考	小テスト及び課題レポートにより、知識の定着を図る
実務経験の内容・期間	家庭児童相談室家庭相談員6年 児童相談所児童心理司16年（心理判定係長15年） 児童相談所担当所長2年 臨床心理士22年 公認心理師6年